

「第21回警防活動教育」を実施しました

[期 間] 令和8年5月26日（火）から6月3日（水）
7日間（56時限）

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 厳しい条件下において、警防活動を遂行し得る旺盛な士気の下に基本的知識と技術の向上が図られ、警防隊員として適切かつ効果的な消防活動ができる。

[教育対象] 警防活動に従事させようとする者で、初任教育修了者かつ採用後3年以上の消防経験を有する35歳以下の者。

[修了者] 26消防本部(局) 59名



第21回警防活動教育 日課表

自 令和8年5月26日(火)

至 令和8年6月3日(水)

月/日 (曜)	小隊	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目	7時限目	8時限目	備考
		8:40~9:30	9:30~10:20	10:40~11:30	11:30~12:20	13:20~14:10	14:10~15:00	15:20~16:10	16:10~17:00	
5/26 (火)	1	入校式 校内服務	総括講話	安全管理 (講義)	警防活動 教育 総合展示	学生面談/資機材管理/課題・技能確認				1日目 入校式
	2									
5/27 (水)	1	ホース延長 (座学)	ホース延長 (実技)			火災性状(座学) (入間東部講師)	吸気排気訓練			2日目
	2	火災性状(座学) (入間東部講師)	吸気排気訓練		ホース延長 (座学)	ホース延長 (実技)				
5/28 (木)	1	ポンプ運用 (座学)	ポンプ運用訓練 (実技)			屋内進入 (座学)	援護注水 延焼防止 (座学)	援護注水 延焼防止 (実技)		3日目
	2	屋内進入 (座学)	援護注水 延焼防止 (座学)	援護注水 延焼防止 (実技)		ポンプ運用 (座学)	ポンプ運用訓練 (実技)			
5/29 (金)	1	屋内進入・救出(実技)				三連はしご(救出訓練・上階ホース延長)				4日目
	2	三連はしご(救出訓練・上階ホース延長)				屋内進入・救出(実技)				
5/30(土)										
5/31(日)										
6/1 (月)	1	耐火造火災想定訓練								5日目
	2	街区火災想定訓練								
6/2 (火)	1	街区火災想定訓練								6日目
	2	耐火造火災想定訓練								
6/3 (水)	1	効果確認 (実技)				効果測定 (座学)	車両・資 機材整備	校内服務	修了式	7日目 修了式
	2									

「第1小隊 総代 川口市消防局 藤井 駿」

【修了しての感想】

第21回警防活動教育 第1小隊総代を務めさせていただきました川口市消防局の藤井です。

本研修では、「殉職者を絶対に出さない」という最終目標のもと耐火造建物火災や街区での木造建物火災を想定した訓練を行いました。

一般的には制限があってできない建物内部での放水や、中隊(2つ以上の隊)としての連携訓練を毎日のように行うことができたことは非常に貴重で自分の消防人生の中でも特に印象に残る良い経験になりました。

また、埼玉県内26消防本部、それぞれ地域特性や考え方が異なる中で活動するという事は1週間という短い期間内では容易ではありませんでしたが、1つの目標に向かって集大成の想定訓練では1つの隊としてまとまることができました。

一度、このメンバーは解散となりますが、本研修で学んだことを各自所属でフィードバックを行い県全体のレベルを向上させ、緊急消防援助隊(国内で発生した災害に全国の自治体から被災地に駆けつける応援部隊)等で埼玉県隊の一員として再度終結することがあった際は、更にレベルアップした姿でオール埼玉として各種災害に対応していきたいと思えます。

【後輩へのメッセージ】

警防活動教育は、火災対応のための教育訓練の場ですが、各消防本部間の情報共有の場でもあります。

近年は消防の資機材や戦術が大きく変わる過渡期です。積極的に情報共有を図り県内全体でレベルアップしていきましょう。

「第1小隊 副総代 秩父消防本部 笠原 鳳玖」

【修了しての感想】

第21回警防活動教育では、「殉職者を絶対に出さない活動」をゴールに掲げ、「ポンプ運用」「ホース延長」「注水技術」の3つの柱を中心に、火災防御活動のレベルアップを図りました。

訓練を通じ、要救助者への確実なアプローチ方法や実践的な放水技術、さらには部隊全体で安全を管理する手法を深く学ぶことができました。

特に教官のご指導のもとで繰り返した実践訓練は、自身の課題を



明確にするとともに技術面・精神面ともに成長につながる貴重な機会となりました。

「たかが7日、されど7日」という教官の言葉通り、非常に濃密で有意義な7日間となりました。

今後は、本研修で得た知識と技術を所属部隊へ還元・共有し、日々の訓練や現場活動において、より安全かつ迅速な活動が遂行できるよう継続して精進してまいります。

【後輩へのメッセージ】

警防活動教育は、現場活動の基本を徹底的に見直すことができる非常に有意義な研修です。充実した訓練環境と教官の指導により、個人の技術向上はもちろん、安全管理への意識を根本から高めることができました。

より確実な火災防御活動を目指す皆さんにとって、大きなステップアップとなるはずです。ぜひ積極的に挑戦してください。

「第2小隊 総代 三郷市消防本部 秋元 綾」

【修了しての感想】

第21回警防活動教育を終え、7日間という短い期間でしたが、多くの学びと気づきがあり、非常に充実した時間を過ごすことができました。

所属の異なる仲間と共に訓練を重ねる中で、それぞれの考え方や活動方法に触れることができ、自分自身の視野を広げる貴重な機会となりました。

今回の教育を通して、改めて「殉職者を出さない」ということの重みを実感しました。

特にホース延長訓練では、延長したホースの先には仲間がいることを常に意識し確実な部署や管理、確認の重要性を学びました。

自分の行動一つひとつが隊員の安全に直結していることを再認識し、基本を徹底することの大切さを強く感じました。

また、私は総代という立場を経験させていただきました。総代として全体をまとめる中で一人の力には限界があり、仲間との連携や支え合いがあってこそ円滑に教育を進めることができると実感しました。

訓練中では互いに声を掛け合い、助け合いながら過ごしたことで、仲間との絆の大切さを強く感じることができました。

火災性状や注水技術、安全管理などの講義・訓練を通じて得た知識や技術はもちろんですがこの教育で築いた仲間とのつながりは、今後の消防人生において大きな財産になると思います。

この教育で学んだことを所属へ持ち帰り、仲間と共有しながら今後の活動に活かしていきます。



また、現状に満足することなく継続して訓練を重ね、安全・確実な消防活動ができるよう努めていきたいと思います。

【後輩へのメッセージ】

警防活動教育では、多くの知識や技術を学ぶことができます。

訓練では思うようにいかないことや失敗することもありありますが、その経験一つひとつが成長につながります。

失敗を恐れず積極的に挑戦し、自分に足りない部分と向き合うことで、消防職員として確実にレベルアップできると思います。

また、この教育では技術の習得だけでなく、仲間との連携の大切さも学ぶことができます。私自身、総代を経験する中で、仲間と協力し支え合うことの重要性を改めて実感しました。苦しい訓練を共に乗り越えた仲間との絆は、今後の消防人生において大きな財産になると思います。

7日間という短い期間ですが、ここで得られる経験や知識、技術は今後の活動に必ず生かされます。訓練できる環境に感謝し、一つひとつの訓練に全力で取り組んでください。

皆さんのさらなる成長と活躍を期待しています。

「第2小隊 副総代 埼玉県南西部消防局 安齋 正伸」

【修了しての感想】

私は今回、第21回警防活動教育に参加し、7日間にわたり警防活動の基本を学ぶ機会をいただきました。

研修ではポンプ運用、ホース延長、注水技術を中心に、耐火造建物火災や木造建物火災を想定した実践的な訓練を経験し多くの学びと気づきを得ることができました。

訓練を通じて特に感じたことは、基本の重要性です。消防活動は高度な知識や技術が求められますが、その土台となるのは確実な基本動作であることを改めて実感しました。

また、今回の研修では、技術や知識だけでなく、積極的に学ぶ姿勢の大切さも学びました。講師、教官、助教官の皆様から多くのご指導をいただき、自分自身の課題を明確にすることができました。

今後は研修で学んだ内容を職場に共有し、日々の訓練や実災害活動に生かしていきたいと考えています。

また、現状に満足することなく知識と技術の向上に努め、市民の生命、身体及び財産を守るため、より安全で確実な消防活動ができる消防職員を目指していきたいと思います。



【後輩へのメッセージ】

警防活動教育は決して楽な研修ではありませんが、その分多くの学びと成長があります。
基本を大切に、仲間と支え合いながら積極的に挑戦してください。7日後には必ず自分の成長を実感できるはずです。

警防活動教育画像

入校式



総括講話



安全管理(講義)



総合展示



ホース延長(講義)



ホース延長(実技)



火災性状(講義)



吸排気訓練



ポンプ運用(講義)



ポンプ運用(実技)



屋内進入(講義)



屋内進入(実技)



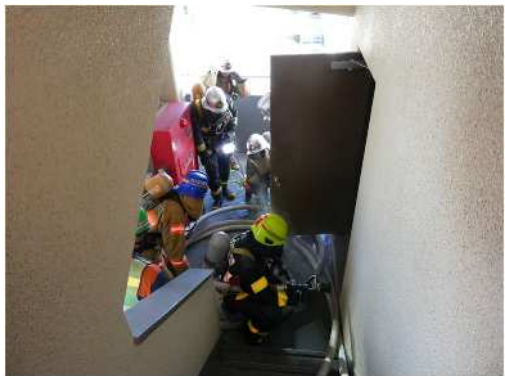
延焼防止(講義)



ホーストレーニング



屋内進入・救出(耐火造)



屋内進入・救出(耐火造)



三連はしご(上階ホース延長)



三連はしご(介添救助)



三連はしご(応急救助)



耐火造火災想定訓練



気持ちを一つに



修了式



全員集合

